

## 特定外来生物「ヒアリ」対策について

### 1 特定外来生物「ヒアリ」について

ヒアリは、強い毒をもっており、刺されるとアレルギー反応を起こす場合もあり、ひどい場合死に至ることもあるといわれている。

平成 29 年 6 月 9 日に兵庫県尼崎市において国内で初めてヒアリが確認されて以来、兵庫県、愛知県、大阪府、東京都、神奈川県、福岡県、大分県、岡山県で確認されている。

7 月 21 日には、九州で初めて福岡市の博多港でヒアリが確認された。

本市では、ヒアリは確認されていないが、大分県中津市で、本市（太刀浦コンテナターミナル）を経由したコンテナからヒアリが確認されている。

### 2 これまでの対応

- (6/20) 神戸港でヒアリが発見されたことから、太刀浦コンテナターミナル（以下、「太刀浦 CT」という。）・ひびきコンテナターミナル（以下、「ひびき CT」という。）で目視点検（未発見）、北九州港関係者へ注意喚起を行うとともに、北九州港ホームページへ掲載した。
- (6/30) 名古屋港でヒアリが発見されたことから、次の寄港地である太刀浦 CT で目視点検を実施した。（未発見）
- (7/11) 太刀浦 CT・ひびき CT にベイト剤（殺虫えさ）を設置した。
- (7/24) 北九州市の関係部局で「特定外来生物ヒアリに関する庁内連絡会議」を開催した。
- (7/25) 中津市でヒアリが発見されたことから、寄港地であった太刀浦 CT 内で改めて目視点検を行うとともにベイト剤を再設置した。
- (7/28) 国土交通省が、「ヒアリの定着防止緊急工事」に着手した。（7/28 太刀浦 CT で着手、田野浦、日明、ひびき CT でも順次実施・下記 4 参照）
- (7/30) 専門家（九州大学准教授）指導のもと、太刀浦 CT で徹底したヒアリ調査を実施した。（未発見・下記 5 参照）
- (8/ 9) 環境省が、粘着トラップの設置に着手した。（8/9 太刀浦 CT より実施・下記 6 参照）

### 3 港湾空港局の対応

- ・毎日の巡回パトロール時の目視点検強化
- ・北九州港ホームページ等を通じた情報発信
- ・ヒアリが発見された当初から、港運協会、船舶代理店等関係者と密に連携する体制を構築し、水際対策に努めている。

### 4 国土交通省によるヒアリ定着防止緊急工事（全国 68 港で実施）

北九州港湾・空港整備事務所がヒアリの侵入・定着を防止するため、生息環境となり得るコンテナヤードの舗装の隙間を埋める工事を7月28日より太刀浦CTで着手し、田野浦、日明、ひびきCTでも順次実施している。

### 5 専門家指導のもと徹底した調査

本市は、九州大学准教授の指導のもと、7月30日に太刀浦CTで、海外から搬入されるコンテナを蔵置するエリア及び周辺の草むら等を調査した。

コンテナ蔵置エリアでは、コンテナに刺激（スパナ等による打撃）を与えた上で目視、草むらについては、土を掘り起こしてアリの生息状況を調査した。

この結果、太刀浦CTでは、ヒアリは発見されなかった。

### 6 環境省による粘着トラップの設置

環境省が手配する専門業者が、目視及び粘着トラップ等の設置による調査を8月9日、太刀浦CTで着手した。今後、ひびきCTでも実施予定である。

なお、中国からのコンテナ輸入の多い東京・横浜・名古屋・大阪・神戸・博多・北九州の7港では特に重点的に実施することが決定している。

### 7 国に対する緊急要望（8月中を予定）

港湾管理者等が実施するヒアリ防除等に要する費用及びヒアリ等の繁殖を未然に防止するためのコンテナヤード等の舗装改良に要する費用などについて、北九州港、神戸港、横浜港など日本の主要港からなる六大港湾協議会から国に対し財政的な支援を行うことなどを要望することとしている。

# 全国でこれまでヒアリが確認された場所



特定外来生物

# ヒアリにご注意！



見つけた場合は、

- 1 絶対に触らない！
- 2 まずは連絡！

環境省提供

- ・ 特定外来生物ヒアリの情報提供、収集に関すること  
北九州市環境局環境監視課（電話：093-582-2239）
- ・ 衛生害虫の防除の方法に関すること  
衛生害虫相談センター(北九州市保健福祉局)（電話：093-571-6636）
- ・ 健康被害に関すること  
北九州市保健福祉局保健所（電話：093-522-8728）
- ・ 港湾における点検、防除に関すること  
北九州市港湾空港局港営課（電話：093-321-5951）

## ヒアリとは…

強い毒を持ったアリです。刺されると健康への被害を及ぼすおそれがあり、「特定外来生物」に指定されています。

原産地は南米ですが、アメリカを中心とした環太平洋諸国にすでに定着しています。アジアでは中国・台湾などで定着していますが、日本での定着は確認されていません。

中国などから到着した貨物（コンテナ）に紛れ込んで国内に侵入します。

日本では、平成29年6月9日に兵庫県尼崎市で初めて確認され、その後、神戸市、大阪府、愛知県、東京都で発見され、7月21日には九州で初めて福岡市で発見されています。

一度定着すると爆発的にその分布を広げ、人への影響及び生態系への影響が懸念されています。

### 1 外見的特長



全身は赤茶色の小型のアリ  
体長は2.5 mm～6 mm



腹部が黒っぽい赤色  
背中に2つのコブ

### 2 生態

- ・草地など比較的開けた環境を好みます。
- ・極めて攻撃的で、集団で節足動物、小型動物も攻撃して捕食します。
- ・土で直径25 cm～60 cm、高さ15 cm～50 cmのドーム状のアリ塚を作ります。



土で作られるドーム状のヒアリの巣

### 3 ヒアリに刺されたら

- ・ヒアリは、アルカロイド系の強い毒を持っています。
- ・ヒアリであれば、刺された時に熱い！と感じるような激しい痛みがあります。  
かゆみ、膿、はれ、じんましんや、アレルギー症状が重篤な場合はアナフィラキシー症状（呼吸困難、血圧低下、意識障害）を引き起こす可能性もあります。

⇒生きた個体を絶対に素手で触らないようにしてください！！

万が一刺されたときには、安静にして体調の変化に注意し、急激に容態が変化する場合には、速やかに病院に行ってください。

# ヒアリ緊急点検及びベイト剤（殺虫えさ）の設置

日時 平成29年7月25日（火） 12:00～13:00

場所 北九州港太刀浦第1コンテナターミナル

